

ながおか

建設だより

第79号

平成27年8月1日発行



一般社団法人
長岡市建設業協会

長岡市三和3丁目8番地
TEL 0258(32)3206代
sikyokai@nct9.ne.jp

編集 総務委員会
印刷所 北越印刷株式会社



(株)曙建設 滝澤 大さん



(株)山崎組

小林憲希さん

吉川沙織さん

未来を見つめ 建設産業を担う若い力!

「安全で安心して暮らせる快適なまちづくり」を目指して担当する業務に取り組みます。

〈写真撮影：総務委員会 田中祐紀彦 氏〉



(株)大石組

湯沢拓斗さん

吉仕優一さん

鈴木 翔さん

渡辺亮介さん



越後交通工業(株)

島影智史さん



共栄建設(株)

阿部優斗さん

宇佐美友也さん



(株)星野組

森 敦哉さん

速水和騎さん

村山将太さん

平成二十七年 定時総会を開催

平成二十七年四月二十七日、会員七十四名の出席を得て、平成二十七年定時総会が「かも川別館」で開催されました。総会では、平成二十六年度の事業報告に続き、平成二十六年収支決算と平成二十七年の事業計画並びに収支予算がそれぞれ承認され、新しい事業年度がスタートしました。



建設業界の魅力向上のため 課題の解決に向け積極的に取り組みます

星 野 光 雄 会 長

平成26年6月に、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「建設業法」「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」が一体的に改正され、業界を取り巻く環境は大きく変化をしています。

長岡市におきましても、新年度から新しい基準等に基づいた入札や契約制度等が施行されており、変更された制度の運用状況について見極める必要があります。

これまでも、協会と致しましては、長岡市に対し入札や契約制度の改善について強く要望を行ってまいりました。そのなかで、長岡市技術職員との意見交換会や検討会などを実施し、まだ不十分な点もありますが、平成26年度から多くの項目で改善が進んでおります。

今後とも工事の品質を確保するため、長岡市からは誠意を持って改善に向けて対応していただくことになっておりますので、地域の実情に即した制度となるように、引き続き要望活動を行い、改善に努めてまいります。

さらに、建設業の魅力向上に向けて、様々な課題の解決と地域の活性化に積極的に取り組んでまいります。特に、建設業界への若者の入職促進を始めた「担い手の確保と育成」対策に、関連する諸団体と連携を図りながら進めてまいります。

これからも、社会資本の整備を通して社会の発展に貢献し、地域の安全と安心を担ってまいりたいと考えておりますので、皆様のより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業計画

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「建設業法」、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」が一体的に改正され、平成二十七年から新しい基準等に基づいて入札契約事務等が

執行されています。

主な改正点として、

○工事費内訳書の全応札業者からの提出の義務付け

○施工体制台帳及び施工体系図の作成及び提出

○最低制限価格の適用範囲の拡大
○長岡市安全安心地域づくり工事

の本格実施

○現場代理人・専任主任技術者の兼任要件緩和措置の期間延長
などとなっています。

新しい制度が運用されるなかで

さらに改善が必要な項目や、工事発注の平準化、適正な工期の設定など、引き続き要望活動を実施し

ます。

また、技術者の高齢化や若年労働者の入職減に対応した、担い手の確保と育成が大きな課題となっています。

協会としても建設業の様々な課題の解決による魅力の向上と入職促進のための取り組みを進めます。

会 員 表 彰



永年にわたり協会の発展に寄与された功績で
有限会社 内藤建設 内藤 常治
 さんを表彰しました。
 おめでとうございます。

- さらに、会員の資質と技術力の向上を図るため各種事業を積極的に推進します。
- 一 平成二十七年度から新しい基準等に基づいて入札契約事務等が運用されていますが、今後とも関連する各種団体と連携を図りながら長岡市に対し、協会のさらなる活用と入札、契約制度の適正化について要望します。
- 二 協会は地域の安全と安心を担い、地域の活性化に貢献するため、公益目的事業計画に盛り込まれた次の事業を積極的に展開します。
- ① 災害時の応急復旧と復旧支援事業に迅速に取り組むとともに、道路等の除雪、要援護世帯の屋根雪下ろし制度等に積極的に協力します。
- ② 地域の祭りや行事における清掃活動等に参加し、環境美化に取り組みます。
- ③ 建設関係の講演会やセミナーを開催します。
- ④ 工事施工指導会や工事安全パトロールをはじめ、会員研修旅行、視察研修、技術検討会などを実施します。
- 三 入札や契約制度の改正、工事施工上の課題などに対応するため、研修や研究事業を積極的に推進します。
- また、昨年度に引き続き、平成二十三年三月に制定された「長岡

会員の異動について（代表者の変更）

会 社 名	変 更 前	変 更 後	変 更 日
平 野 建 設 株式会社	平 野 保 雄	米 山 雷 太	平成27年2月27日
株式会社 宮 川 建 設	宮 川 ト シ	宮 川 元 直	平成27年4月21日
株式会社 多 田 組	多 田 博 義	多 田 博 昭	平成27年6月25日

会員の退会について

会 社 名	代 表 者 名	退 会 日
株式会社 池田工務店	池 田 秀 之 助	平成27年7月10日

会員数(平成27年8月1日現在)82社(正会員71社、準会員11社)

市建築工事設計変更ガイドライン」の運用状況について検証を進めます。

四 会員に対する情報提供を積極的にを行うとともに、協会の活動状況や経営内容等について周知を図ります。

賑やかに情報交換

定時総会終了後、来賓として森民夫長岡市長、磯田達伸副市長をお迎えして懇親会を開催し、賑やかな情報交換の場となりました。



委員会の活動

平成二十七年でも総務委員会と技術員会が中心となつて、研修、親睦、社会貢献活動等の事業を積極的に展開します。皆さんの参加とご協力をよろしくお願い致します。

総務委員会

総務委員会は、「ながおか建設だより」の発行をはじめ、会員研

修旅行や会員親睦ゴルフ大会、各地域の環境美化活動、建築セミナー、建設産業講演会などを実施します。また、「担い手の確保と育成」

技術委員会

が緊急の課題となっており、建設業の魅力向上と若年者の入職促進を始めとした対策に取り組めます。さらに、平成二十八年度は、協会創立七十周年となることから、周年行事等の開催時期や事業内容について検討を進めます。

技術委員会は、土木・建築工事施工指導会をはじめ、土木工事及び建築工事の安全パトロール、視

察研修のほか、今年度も長岡市技術職員（長岡市建設技術協会）との意見交換会を開催します。また、総務委員会とともに、入札契約制度の改正や工事施工上の課題などに対して、研修と研究活動に積極的に取り組みます。さらに、昨年度に引き続き特別委員会、平成二十三年三月に制定された「長岡市建築工事設計変更ガイドライン」の運用状況について検証作業を進めます。

主な活動の日程と内容

【全体】

月 日	項 目
4月27日	平成27年度定時総会
1月	新年会(新潟県建設業協会長岡支部と合同)

【総務委員会】

月 日	項 目
8月1日	「ながおか建設だより」第79号発行
9月27日～9月29日	会員研修旅行(新潟県建設業協会長岡支部と合同)
10月27日	会員親睦ゴルフ大会(長岡カントリー倶楽部)
11月	建築セミナー2015
12月	建設産業セミナー
1月15日	「ながおか建設だより」第80号発行

環境美化活動

4月24日・28日	桜まつりの会場設営及び清掃(小国地域)
8月3日・4日	長岡まつり大花火大会の会場早朝清掃(長岡地域)
10月	こしじ秋まつりの会場清掃(越路地域)
2月	とちお遊雪まつりの会場設営(栃尾地域)
3月	古志の火まつりの会場後片付け(山古志地域)

【技術委員会】

月 日	項 目
7月17日	土木・建築工事施工指導会
9月15日	土木工事安全パトロール
10月13日	視察研修
11月	長岡市技術職員(長岡市建設技術協会)との意見交換会
12月	建築工事安全パトロール

※ 日程と内容は決まり次第ご案内します。



長岡市建築工事設計変更ガイドライン検討委員会(長岡市担当課との意見交換会)

土木・建築工事施工指導会

工事現場の安全管理の徹底と 質の高い施工を

技術委員会主催の「土木・建築
工事施工指導会」を、七月十七日
さいわいプラザ六階大会議室で開
催しました。

長岡市から、細山工事検査監、



契約検査課の稲川総括副主幹、市
野総括副主幹、渡邊総括主査、武
工事契約係長を講師に迎え、工事
担当者等八十五人が出席しました。

指導いただいた内容は、

- ① 平成二十六年年度の工事成績
- ② 建設現場の事故防止
- ③ 最近の建設産業に係る法律改
正の概要
- ④ 法律改正に伴う入札契約事務
の留意事項

などです。

平成二十五年度と比較した各工
種別の平成二十六年年度の工事成績
をはじめ、労働災害の発生状況や
労働安全衛生規則の改正の概要、
建設業法及び公共工事の品質確保
の促進に関する法律の一部を改正
する法律の内容、入札時の工事費
内訳書の取扱いなどについて、事
例を交えながら説明を受けました。
今後とも工事現場の安全管理を
徹底し、事故の防止とともに、技
術力の向上と質の高い施工を目指
しましょう。

平成二十七年年度 安全功労者表彰

五月二十一日、長岡建設会館に
おいて開催された、建設業労働災
害防止協会新潟県支部長岡分会

(田尻正敏分会長) の通常総会で
次の方々が安全功労者として表彰
されました。



賞名	会 社 名	氏 名
功 労 賞	(株) 曙 建 設	木 村 貞 則
	(株) 星 野 組	川 又 英 樹
	(株) 山 崎 組	鈴 木 利 二
	渡長建設(株)	久 賀 仁
	渡長建設(株)	吉 水 賢 市

賞名	会 社 名	氏 名
功 績 賞	(株) 大久保土建	川 上 和 人
	小 川 興 業 (株)	小 川 慎 司
	(株) 多 田 組	廣 川 哲 也
	(株) 山 崎 組	河 内 英 一

「私の一冊」

（株）山崎組 高田裕司

先日「あの人の一冊」というタイトルのNCT（長岡のケーブルテレビ局）の取材を受けることになった。蔵書家でも読書家でもない私が思ったが、その一冊「世界の酒」を選びだした。

その本は三十年ほど前に上越高田の造り酒屋の社長に頂いた。昭和三十二年に書かれたベストセラーの岩波新書で、すでに廃刊になっていたため、わざわざ何処からか取寄せられて郵送いただいた。

著者・坂口謹一郎氏は上越の偉人、酒の博士、日本酒のみならずワイン、ウイスキーを含む近代日本の酒造りの父で、世界に通じる醸造学の権威であり、酒を愛する歌人として、学術を超えて人を育てた方だと社長に聞かされた。

「世界の酒」は戦後の昭和二十五年の秋から翌年春にかけて、欧米の十二ヶ国を訪れた紀行文で、

あらためて読んでみても各国の人と酒の描写が慈愛深い。

フランス



ではシャンゼリゼーの裏町に下宿して、「食事はその辺の縄のれん式の小料理屋で」で楽しみ、ドイツでは昼時「子供連れなどの場合には、ビールをさじですくって幼児に飲ませているのも見うけ」、「駅のプラットホームなどで、湯気の立つ白ソーセージをさかなにビールを飲んでいく」と人と酒の情景を楽しく語っている。

一方、広い学識と柔軟な観察眼で「世界の酒を見渡すと、大物はまず葡萄酒とビールにとどめをさす。そのほかは、葡萄酒を蒸留したブランデー（コニャック）、ビールを蒸留したウイスキーが主である。」と切り出し、その蒸留の起源について「そのままでは品質のよくないぶどう酒が、かえって極上のブランデーになることがわかり…容積が十

会員随想…思いを馳せる

分の一近くになるので、だぶついた葡萄酒はたちまち処分された。そればかりでなく、効き目のよいことと容積の小さいことのために…海の荒武者どもの愛用するところとなり、世界の果てまで名声が轟きわたるようになったのである」と。

ウイスキーについては「スコットランドの山の中の人達の常用する粕取りどぶろく級の位置にしかなかったものである。チャーチルの著書にも、『我が父はスコットランドの山野へ猟に出かけた時でもなければ、ウイスキーなどは決して口にしたことなかった。彼の時代の飲み物はブランデー・ソーダであった』イギリスの富有階級が、どうしてこの山間の地酒を尊重するようになったか？」と書いている。そして六十年前、日本のウイスキー技術が世界の水準にあったと断言している。「しかし、日本のウイスキーの或るものが、アメリカのそれに比し、段違いに優れているという説については、おそらく異論のある人は少なからうと思う。」そして「一

つの新しい機械を日本へ売ると、まもなく同じものが百も戻ってくるというのがイギリス人の嫌がらせである」とドラマ「マッサン」がフィクションではないことを証明している。

その後「日本の酒」「愛酒楽酔」などの酒と歌の名著を上梓されている坂口博士は、最上の酒について「私は、平素自己流の酒の鑑定の秘訣としていっているのは、ただなんのさわりもなくスルスルと水のようには飲めるものを良酒とすること、うまいと感じたり、濃いと感ぜたりするのは必ず駄酒である」と結んでいる。

※「」内「世界の酒」から引用



写真は全てNCTの番組「あの人の一冊」から